

大粒な
米づくりで
食味向上!

令和元年
夷隅地域水稻生育情報
第 1 報

令和元年 5月22日
夷隅農業事務所
改良普及課

TEL 0470-82-2213

FAX 0470-82-3975

生育ばらつく、適期中干しで適正穂数に！

3月～4月の育苗期は温度変化が大きく、生育が停滞し、低温による病害（ムレ苗等）が多発し、細菌病の発生も確認されました。5月以降は気温が上昇したことから生育が進み、5月20日の定点調査では生育はやや遅～やや早でした、今後も気温の上昇が見込まれ、生育過剰となることが懸念されますので、適期中干しにより無効分げつの発生を抑えましょう。

表1 定点調査ほ場の生育状況（5月20日現在）

品種名	調査場所	田植え	平年比		
			葉齢の進み	草丈	茎数
ふさおとめ	いすみ市島	4月16日	やや遅い	やや短い	やや少ない
ふさこがね	大多喜町下大多喜	4月27日	平年並み	短い	少ない
コシヒカリ	いすみ市松丸	4月18日	やや早い	長い	やや多い

1. 【分げつが盛んな時期、ほ場ごとの生育に合わせて中干しを】

「大粒で食味の良い米を作る」、「乳白米等の無い高品質の米を作る」、「天候不順な年でも安定した収量を得る」ため、中干しを適期に実施しましょう。

中干しに入る茎数の目安

ふさおとめ：(60株/坪) 22～24本/株

ふさこがね：(60株/坪) 20～21本/株 (50株/坪) 23～24本/株

コシヒカリ：(60株/坪) 17～20本/株 (50株/坪) 21～24本/株

2. 【天候不順に強いイネを作るために】

以下に記載した肥料は、根の張りや茎を丈夫にする効果があります。6月上旬に追肥として適量を施用します。これらの資材は施用時に入水する必要はありません。

(1) 苦土過りん酸（根張りを良くして、登熟を向上させます）

施用量：20～40kg/10a

(2) けい酸加里（硬くて丈夫なイネになり、倒伏・病害等に強くなります）

施用量：30～40kg/10a

3. 【藻が多発しています】

今年は藻が発生しているほ場が多く見受けられます。藻類は水温20℃以上かつ富栄養化ほ場で発生が助長され、生育初期の苗を押し倒したり、肥料分の奪取が起こります。また、除草剤や肥料散布の妨げにもなるため、多発ほ場では下表の薬剤を用いて防除を行いましょう。発生量が少なくても、条件が揃えば急激に増殖する恐れがありますので、発生初期に熊手などですくい取ることも有効です。



藻が発生したほ場

表2. 藻類に登録のある除草剤

薬剤名	使用時期/使用回数	使用量	使用方法
モグトン粒剤	藻類の発生時/3回以内 (ただし、収穫の45日前まで)	2~3kg/10a	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布

4. 【スクミリンゴガイの食害に注意、体系的な防除の実施を】

今年も一部地域でスクミリンゴガイによる食害が発生しています。被害の多いほ場では下表を参考に薬剤防除を実施しましょう。併せて、浅水管理や貝、卵塊の除去などを参考に耕種的防除、物理的防除を組み合わせる体系的防除を行って下さい。

表3 主な防除薬剤

薬剤名(本田施用剤)	使用時期/使用回数	使用量	備考
スクミノン	収穫60日前まで/2回以内	1~4kg/10a	殺貝
スクミンベイト3	発生時	2~4kg/10a	殺貝+食害防止
スクミハンター	収穫45日前まで/3回以内	1~2kg/10a	食害防止
パダン粒剤4	収穫30日前まで/6回以内	4kg/10a	食害防止

お知らせ

「水稻生育情報の入手には、迅速なFAXやEメールへの切替をお願いします！」

できるだけ迅速に情報提供を行うため、郵送からFAXもしくはEメールでの提供に切り替えていただくようお願いしています。切り替え可能な方は、右記連絡先までその旨お伝えください。

連絡先

夷隅農業事務所 改良普及課

担当者：大内、伊奈、西方

電話：0470-82-2213

FAX：0470-82-3975

E-mail：y.in6@pref.chiba.lg.jp